

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

白山台放課後等デイサービスみゆ～みゆ～

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		国の基準スペースは確保されているもののそれが果たして子ども達の個別対応として構造化されているかという改善が必要と思われます。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		重度障がい児の受け入れも今後検討している中で明らかに職員数が足りません。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			既存の手すり、エレベーターが設置されています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		勤務の都合により参加できる職員に肩よりがあるため、今後は幅広い職員が参加できる体制構築をしていきたいと思っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		年1回アンケート調査を実施します。結果を全職員で共有・検討し、改善できる事項については改善工夫していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		オンブズマン、オブザーバーの第三者の視点で評価をお願いする予定です。そこで更に業務改善へ向けて取り組んでいきたいと思っております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		研修の機会を設けてはいるが、十分ではない。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者との面談の中で子どもの保護者のニーズを聞き取り、放課後等デイサービス計画評価を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		職員全員が共通認識をもつようなものが足りない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で協議・試行錯誤を繰り返し、利用者の特性に合わせて、個別活動と集団活動を取り入れている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前には必ず活動・支援内容や役割分担を確認しながら決めています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者との面談を行い、放課後等デイサービス計画の作成・評価を見直しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか			○	学校側からの共有が足りない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケア児の受け入れ体制が整っていないのが現状です。ただし協力医療機関としては近隣の「うしお内科クリニック」に依頼しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援専門員を通して、連携会議や引継ぎを行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			高等部3年生の利用者がおります。その方の情報提供を行い、スムーズに障がい福祉サービスへ移行できるようにしていきたいと思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	出来ていないのが現状です。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	小グループ活動として外出した際に社会との触れ合いがあるぐらいです。ただし保護者によっては、それを望まない方もいらっしゃるので、調整を図りながら行っていきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			なるべく保護者と会話をするように心掛けています。もっと事業所での活動や様子を細目に伝える必要性を感じています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者に対するペアレント・トレーニングは行っていません。必要に応じて、個別面談を実施しています。また家族が大変な場合は、家族支援も行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			いつでも当所を開放し、保護者からの相談に乗るようにしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現状はないです。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情ボックスの設置をし、苦情受付担当者を設けています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		個人情報の観点から、会報等の発行に関し検討中です。個々に保護者へは子どもの活動内容はお知らせしていきたいと思います。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	来年度は、こうした地域住民を招待することも検討の視野に入れ、開かれ事業所にしていきたいです。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約時に、災害マニュアル、感染症マニュアルを配布施設名しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練は月1回、総合避難訓練を年2回実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止マニュアルを作成しています。虐待防止の研修は事業所内、行政機関の行う研修にも参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			相談支援専門員とも、危険性を伴う場合、止むを得ず身体拘束を行う場合があるかも知れないことを説明し、そうした利用児童に関しては同意書を得ています。さらにケース記録も開示し保護者から毎月、確認印を頂いています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時に、必ずアレルギーの有無を確認しています。そこで有る場合は、医師の指示書に基づいて対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事故防止に関しては、常時配慮及び話し合いをしています。今後は全体でリスクマネジメント会議の開催の実施も検討していきたいと思います。